

## 避難住民支援チーム（社会福祉学部）

### (1) 今年度の避難所訓練の目標

- ①（医療センターを経由せず）大学に直接避難してくる避難住民の役割を設定（健康栄養学部生3回生28名＋社会福祉学部生1回生約30名）  
※避難住民の学生の一部は、避難後にボラセンに登録して支援者役割へ移行する。  
※避難住民や傷病者役割の学生に対し、避難後の待機時間に研修を実施（西川、神原が担当）
- ② 軽傷者看護エリア（看護学部）、栄養アセスメント（健康栄養学部）との連携、情報共有
- ③ 学外より、実際の地域住民（池住民（いけいけサロンが対応）・望海ヶ丘住民、外国人、障害者）が参加。それぞれの対応にあたっての課題を明らかにする。

### (2) 合同災害訓練教員の役割 計14名（◎は部署の責任者）

本部 宮上学部長（本部と避難所との連絡・指示）  
【避難所訓練統括】 長澤 ※避難所支援の役割には入らない

以下、避難所運営支援役割（役割は時間の経過により変更すること有り）

- ① 避難所運営統括 中畠◎ 統括補佐 西内  
※全体総括、各部署から報告を受け本部に伝達、避難者のデータ管理
- ② 受付 上田◎・稲垣、玉利＋学生2～3名  
※名簿に記載、エリアへ配置、ヒアリングシートやアンケートを配布
- ③ 健康相談 三好◎・片岡・DNGL 院生西川（看護学部との連携）  
※要配慮者に関する相談対応、軽傷者チームへ送致
- ④ 要配慮者エリア 河内◎・遠山  
※要配慮者へのアセスメント、心理社会的支援
- ⑤ 居住エリア 鈴木（孝）◎・雑賀・鳩間  
※避難住民役、傷病者役の学生の受入

### (3) タイムスケジュール

8:00 学部防災委員（長澤・中畠・河内・上田）は体育館に集合  
避難住民、傷病者等の役割の学生は、各集合場所に集合

8:30 他の教員は、体育館集合

設営の準備

- ・全ての扉を開放、カーテンを手動で開ける(停電想定のための採光)
- ・受付設置（長机に受付名簿、筆記用具、ホワイトボード、アンケート及び回収箱の設置）
- ・体育館入口の動線の確保、スリッパと靴入れ袋の準備
- ・エリアごと（要配慮者、居住者等）の掲示と線引き、準備

8:45 地震発生、訓練開始

- 8 : 45～ 大学に集合した学生は学内避難訓練の開始  
避難した教室で安否確認後、各自避難所運営訓練へ
- 9 : 30 過ぎ～ 避難所運営訓練開始
- 9:45～10 時頃 避難住民役の学生、学外からの住民、外国人、障害者の受入  
医療センターからの傷病者（処置済・トリアージ青タグ患者等）役学生を受入

**【避難所での対応】**

- ・受付で名簿記入とヒアリングシート、アンケートの配布（原則避難者自身が記入、難しい場合にはスタッフによる聞き取り）
- ・要配慮者の発見と相談対応、軽傷者エリアに送致
- ・避難者への心理社会的支援
- ・看護学部、健康栄養学部との連携
- ・空き時間に災害に関する備えを学ぶ研修を実施

- 11 : 00 訓練終了、30 分程度反省会【各々の部署で課題を出してもらおう】  
各自炊き出しの試食、アンケート提出（12 時頃に終了）